

事業所名 グループホーム町屋
運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 2023年 6月 27日(火)		
参 加 者 (照会依頼含む)		議 題
利用者	0名	① はじめに
利用者家族	0名	② 行事報告(1号館)
地域住民の代表者	0名	③ 行事報告(2号館)
市職員	1名	④ 利用者様状況
地域包括支援センター職員	1名	⑤ 身体拘束適正化検討委員会
		⑥ 質疑応答
事業所	2名	⑦ 次回開催日
会 議 録		
<p>1.はじめに</p> <p>2020年1月15日に新型コロナウイルスの国内にて最初の感染者が発生しました。その後、運営推進会議はコロナウイルス感染拡大防止により、書面にて開催をしてきました。そして、新型コロナウイルス感染症の位置づけは、これまで、「新型インフルエンザ等感染症(いわゆる2類相当)」としていましたが、2023年5月8日から「5類感染症」になった事も踏まえ、およそ3年ぶりに今回開催分より事業所にて開催をする運びとなりました。</p> <p>当事業所でも、感染予防対策として、職員のマスク着用、手指消毒、施設内の消毒、換気などを常時行ってきましたが、2022年2月に、町屋2号館、2022年12月に、町屋1号館にて感染者が発生しました。感染者の方達も幸い重度化はせず回復をされました。今年の5月から「第5類」となりましたが、気を緩めず、引き続き感染予防対策を行っていききたいと思えます。</p> <p>2. 1号館 行事報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月17日 母の日 <p>母の日のイベントとしまして、昼食にちらし寿司、おやつにプリンアラモードを提供させて頂きました。母の日の会をおやつ時に行い、職員からは日頃の感謝を込めてタオルをプレゼントさせて頂きました。皆様、お話を楽しみながらお過ごし頂く事が出来ました。</p>		

- 5月25日 避難訓練

今年度1回目の避難訓練を行いました。今回は、地震が発生して台所から出火したという想定で行いました。訓練内容は、消火器を使用した初期消火訓練。火災通報装置にて、消防署に通報訓練をしました。利用者様には、施設内から屋外へ避難して頂きました。火災発生から避難完了まで、6分44秒にて避難出来ました。

- 6月23日 いなり寿司作り

いなり寿司作りをしました。作ったいなり寿司を、昼食時に召し上がって頂きました。皆様、昔は良く作ったなどお話をされながら、いなり寿司作りをお楽しみ頂きました。

3. 2号館 行事報告

- 5月18日 母の日

母の日のイベントとしまして、昼食にちらし寿司、おやつにプリンアラモードを提供させて頂きました。母の日の会をおやつ時に行い、職員からは日頃の感謝を込めてタオルをプレゼントさせて頂きました。「美味しいね。」とおやつをお召し上がり頂きました。母の日の会では、皆様とお話を楽しみながらお過ごし頂く事が出来ました。

- 5月30日 避難訓練

今年度1回目の避難訓練を行いました。今回は、地震が発生して台所から出火したという想定で行いました。訓練内容は、消火器を使用した初期消火訓練。火災通報装置にて、消防署に通報訓練をしました。利用者様には、施設内から屋外へ避難して頂きました。火災発生から避難完了まで、11分33秒にて避難出来ました。

- 6月20日 誕生日会

6月生まれの方と、喫茶店まで外出をしました。誕生日の方は、ホットコーヒー、ドーナツをお召し上がりになられました。久しぶりの外出という事もあり、終始笑顔が多く見られました。

・ 6月23日 いなり寿司作り

いなり寿司作りをしました。作ったいなり寿司を、昼食時に召し上がって頂きました。皆様、昔は良く作ったなどお話をされながら、いなり寿司作りをお楽しみ頂きました。

4. 利用者様状況

◆ 町屋1号館

女性 8名 看取り 0名

81歳から95歳（平均89歳）の方が入居されています。

要介護度1	2名
要介護度2	3名
要介護度3	2名
要介護度4	0名
要介護度5	1名
平均介護度	2.4

◆ 町屋2号館

女性 9名 看取り 0名

77歳から96歳（平均90歳）の方が入居されています。

要介護度1	1名
要介護度2	3名
要介護度3	2名
要介護度4	2名
要介護度5	1名
平均介護度	3

5. 身体拘束適正化検討委員

- 身体拘束をせずに行うケア三つの原則について（別紙資料あり）

6. 質疑応答

瀬戸市役所 高齢福祉課様

- 避難訓練の説明は写真もあって分かりやすかった。特に1号館の避難時間は早くて感心しました。私たちにもノウハウを教えてほしい。
→1号館と2号館では避難する移動距離の差や身体状況の違いにより時間差が生まれています。導線の確保が上手くできました。
- スピーチロックでは何気ない一言で利用者がどう思うか、感じるか考えないといけませんね。
→大前提としてスピーチロック等の身体拘束は行ってはいけないので、利用者様の身体状況や生活動作、性格などを把握して対応することを心掛けています。

やすらぎ地域包括支援センター様

- コロナ禍で苦勞されて頭が下がる思いです。
• 避難訓練では同じことを思いました。
→上記参照
- スピーチロックなどの身体拘束は悩ましい課題ですね。
お願いする立場ですが、スピーチロックは油断すると出てしまうので意識しながら対応してほしいです。
→悩ましい課題ですが、身体拘束はしないと日々考えるのが重要だと考えます。
- ペットの問題について、入居になった時に可愛がっている犬や猫などの動物と一緒に入居したいと言われた時の対応について。
→集団生活の場のため、他入居者様がアレルギー持ちの人や動物が嫌いな人、事故などの危険性から判断し、お断りをしています。代わりに保証人様などが一時的に外まで連れてきて触れ合ったり、鑑賞することであれば了解しています。

- 看取りの対応も可能とのことですが、お風呂や食事はどうされていますか。
→一般の浴槽ですが基本的には1人で入浴介助をしています。必要であれば2人介助で入浴して頂いています。
食事はその方にあった食事形態（刻み、ミキサー、トロミなど）にし提供しています。

7.次回開催日 2023年 8月 22日(火) 14:00~